

天使大学特別研究費等による研究報告会(2011. 3. 22)

医療チーム連携の学習プログラムに 関する基礎的研究

研究代表者: 瀧断子

研究メンバー: 高野良子 鈴木美和 鈴木純子
長谷川真澄 荃津智子

I. 目的

看護師、管理栄養士の医療チーム連携協働に必要な能力を習得できるための学士教育課程における教育・学習プログラムを検討する。

II. 具体的な目標

- 1) これまでの医療チーム連携に関する学習プログラムの評価
- 2) 看護師、管理栄養士が医療の現場において合同でチーム医療を実践的に学ぶことによる習得度を評価
- 3) 1)、2)から本学習プログラムの本学の学士教育課程における医療チーム連携教育・学習プログラムとしての発展の可能性を探る

Ⅲ. 研究目的の背景

1. 医療の進歩・発展

2. 患者中心の医療提供の追及

→ 様々な職種による医療提供



確実な情報交換

緊密なチームワーク



現実

看護師教育：対人援助の基本となる力の育成

他職種との連携 必要性

免許資格後の実践の場に期待

IV. 本学の教育目標

- ・保健医療福祉システムの中で専門職者として人々の健康に貢献できる能力を養う

看護学科：保健医療福祉システムの中で、他の専門職と協力して、目標に向け推進する能力を養う

栄養学科：円滑な人間関係を築き、他職種と協働できる能力を養う

1. 本学のこれまでの試み

看護学科、栄養学科合同学習科目

: 保健医療福祉システム論

学年: 4年生前期

目標・内容:

- ① 地域ケアシステム化を推進するための基本理念の理解
- ② 保健医療福祉システムにおける保健師、看護師、管理栄養士の役割・機能の相互理解
- ③ 地域ケアのあり方と関係職種との連携を考える
- ④ 講義、事例を用いてのグループワーク

2. 全国的な教育・学習の試み

Interprofessional Work (IPW)

専門家 相互に

Interprofessional Education (IPE)

1) 形態

- 多職種連携を学ぶ学部横断型共通科目の設定
- 大学連合コンソーシアム構築

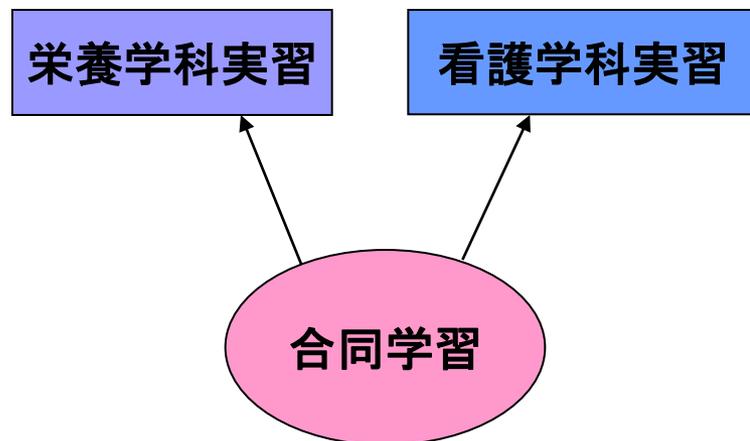
2) 方法

- 講義 演習
- 他職種の職場の実習
- 合同実習

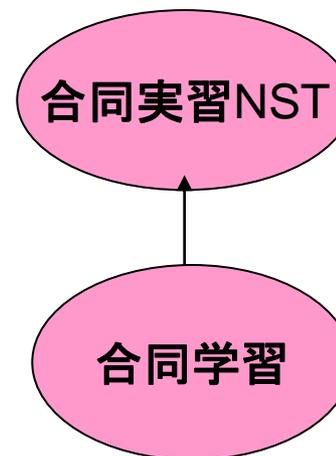
V. 本研究の学習プログラム

- NST (Nutrition Support Team) の
チームメンバーとして看護学科、栄養学科
の合同実習

これまでの医療チーム連携の学び



本研究の医療チーム連携の学び



VI. 研究方法

1. シングルケース介入研究

	ベースライン	介入	介入後
学習 内容	4年生までの学習	1. NST講義 2. 看護学科、栄養学科合同チームの作成 3. NSTの1名の患者を合同で受け持ち患者の栄養、食事のアセスメントをする	インタビュー 自己評価表
評価	医療チーム連携の理解度 医療チーム連携に必要な能力の自己評価	4. アセスメントに基づく支援の検討 5. NST回診参加 6. 合同で支援計画の修正 7. 合同で学びの振り返り	

2. 対象:

本学看護学科、栄養学科4年生 任意参加8名

3. 学習プログラム:

- 1) 看護学科2名、栄養学科2名の合同チームにする
- 2) チームで体験実習を行う
- 3) 実習の場は病院、NSTを実体験する
- 4) 体験実習期間は2011年8月1日ー12日の間の
3日間

4. 分析

体験前・後の医療チーム連携の理解内容の分析と
連携に必要な能力に関する自己評価の数値比較

VII. 倫理的配慮

大学倫理委員会

協力病院倫理委員会

学生：掲示による呼びかけ

対面説明、同意書の取り交わし

その他

1. 研究を進めるにあたり研究者のNST研修の実施
2. 協力病院の実情把握
平成22年NST加算によるNST稼働の有無等
3. 協力病院との協力体制・内容の打ち合わせ



ご静聴有難うございました